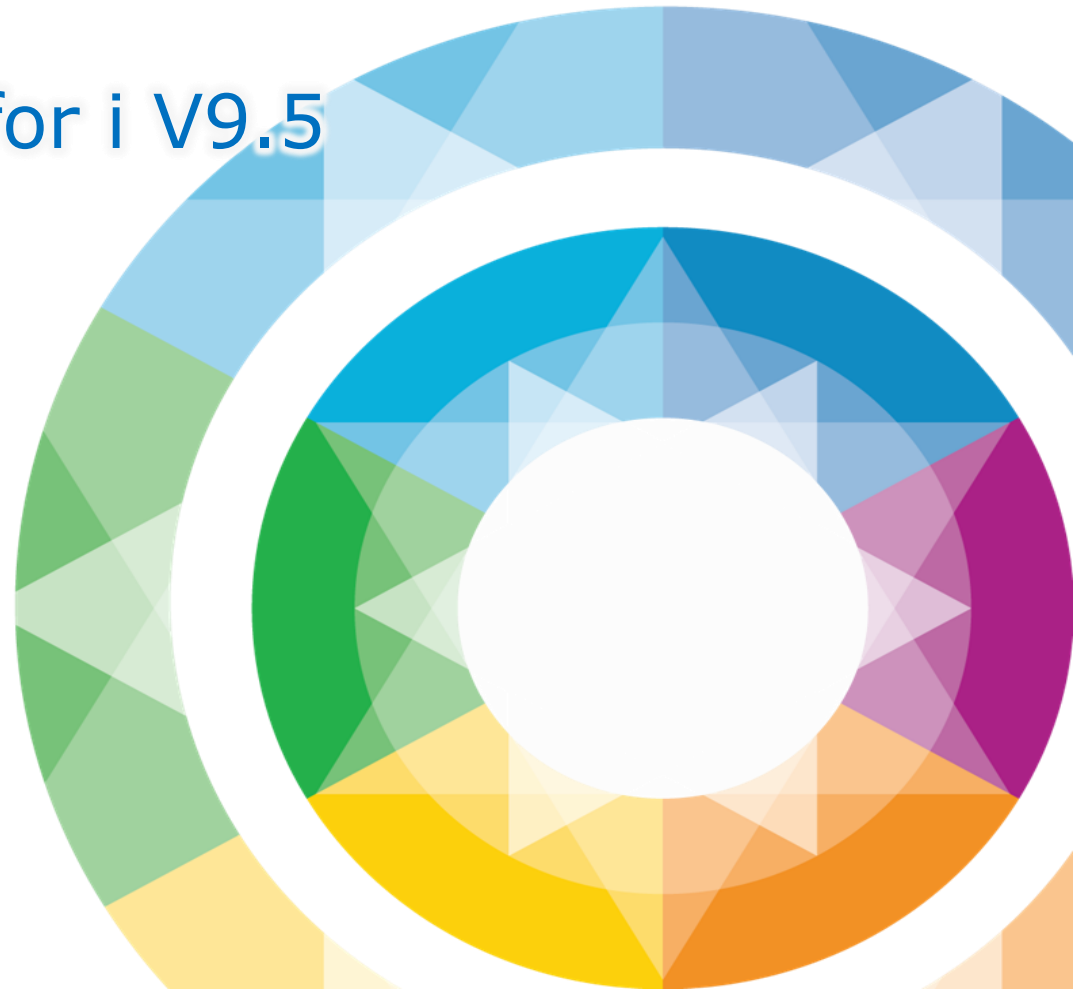


# IBM Middleware

## IBM Rational Developer for i V9.5 インストール・ガイド

2015.12.28

IBM Japan Systems Engineering Co.,LTD.



## 特記事項

- 当資料で解説される項目の更に詳細な説明は、製品から提供されるマニュアル、オンライン・ヘルプ、Web上の情報を参照してください。
- 当資料は、2015年12月現在のIBMその他の製品情報に基づいて作成されております。この資料に含まれる情報は可能な限り正確を期しておりますが、日本アイ・ビー・エム株式会社および日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社による正式なレビューは受けておらず、当資料に記載された内容に関して日本アイ・ビー・エム株式会社および日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社が何ら保証をするものではありません。したがって、この情報の利用またはこれらの技法の実施はひとえに使用者の責任においてなされるものであり、当資料の内容によって受けたいかなる被害に関しても一切の保証をするものではありませんのでご了承ください。
- 著作権は日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社に帰属します。



## 目次

1. IBM Rational Developer for i V9.5の製品概要
2. IBM Rational Developer for i の導入方法
  1. IBM Rational Developer for i V9.5 のインストールと起動
  2. IBM Rational Developer for i ライセンスの登録
- 付録A.IBM Rational Developer for i 評価版のダウンロード
- 付録B.IBM Rational Developer for i 参考資料一覧



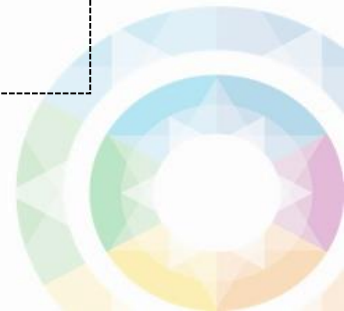
## 1. IBM Rational Developer for i V9.5 の製品概要

IBM iにおけるEclipseベースの統合開発環境

## Rational Developer for i

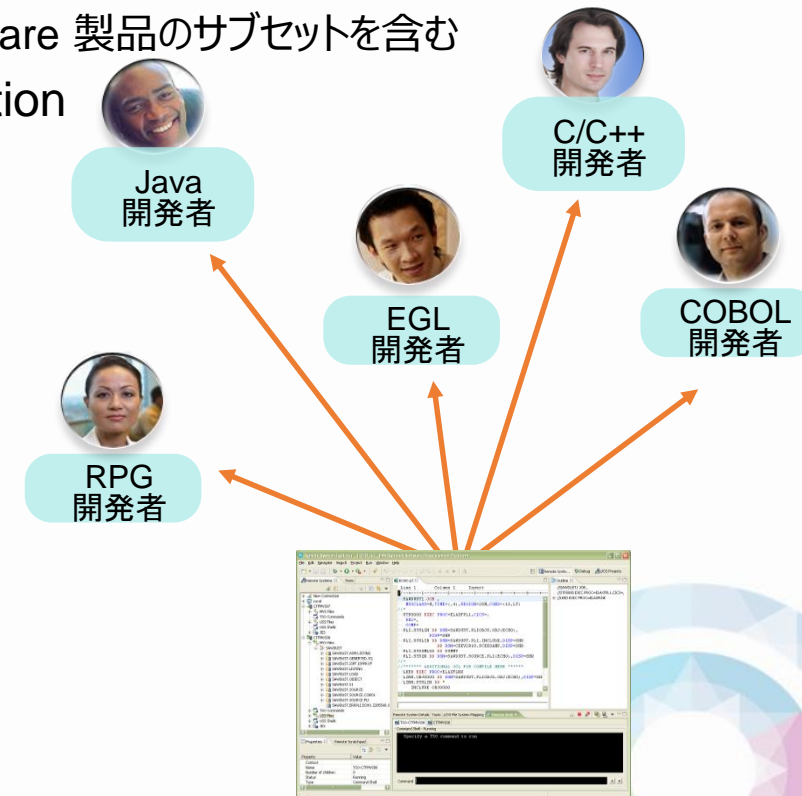
- Rational Developer for i (以降RDiと省略)の主な機能
  - RPG, COBOL, CL, DDS、C、C++、SQL開発
  - IBM i上のファイル・アクセス、検索、編集、コンパイル、実行 (RDiにはローカル・コンパイラーは付属しない)
  - 機能豊富なエディター
    - アウトライン・ビュー、コンテンツ・アシスト構文への色づけ
  - アプリケーション・ダイアグラム
    - ILEプログラムの可視化
  - DDSのビジュアル設計機能
    - スクリーン・デザイナー
    - レポート・デザイナー

Rational Developer for i 9.5は、  
Eclipse 4.2.2ベースの製品です



## Rational Developer for i ~ 3つのエディション

- Rational Developer for i には3つのエディションがあります
  - RPG and COBOL Tools
    - C、C++、CL、DDS、および SQL 開発もサポートします
  - RPG and COBOL + Modernization Tools, Java Edition
    - Rational Application Developer for WebSphere Software 製品のサブセットを含む
  - RPG and COBOL + Modernization Tools, EGL Edition
    - IBM Rational Business Developer を含む
- すべてのエディションにIBM Data Studioを組み込み



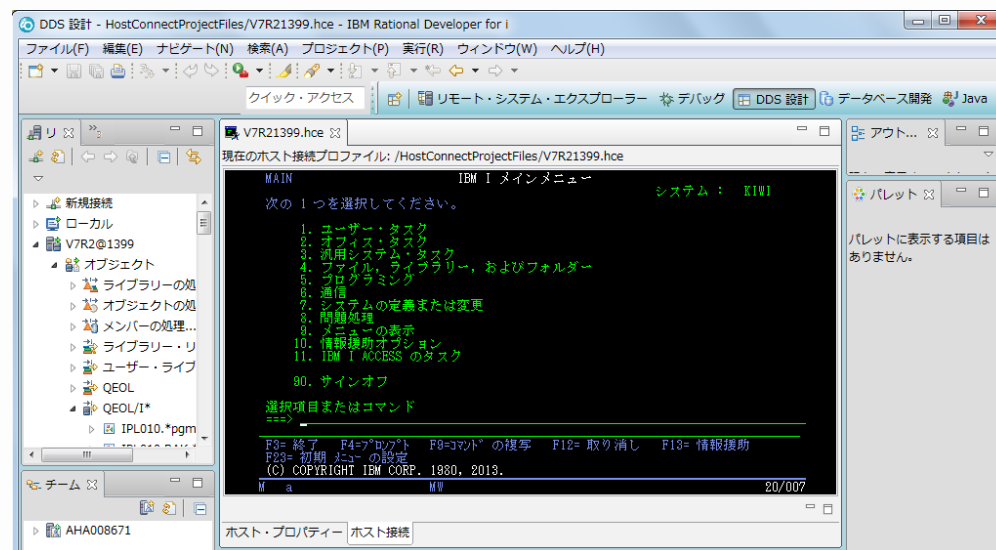
## Rational Developer for i 9.5 新機能

- 5250エミュレーターの組み込み
  - Rational Developer for iに5250エミュレーターが組み込まれました

- フリーフォームRPGにおける機能拡張
  - 1行80桁までという桁制限がなくなりました
  - 前提のPTF(後述)の適用が必要です

- フォーマット機能(インデント表示)の拡張

- RPGにおけるコンテンツ・アシストの機能拡張



- Remote System Explorer フィルターの機能拡張
- ワークスペース構成情報のクライアント配布機能の拡張
- etc...

## 2. IBM Rational Developer for i の導入方法

### 2-1. Rational Developer for i V9.5 のインストールと起動



## Rational Developer for i 9.5 導入について

- 導入方法
  - 新規に製品をインストールする必要があります
  - RDi V9.0、V9.1などの以前のバージョンからのアップデートはできません
    - ベースとなるEclipse及びJavaのバージョンが異なるため、Installation Managerの「更新」を使ってV9.5へアップデートすることはできません



## Rational Developer for i 9.5導入の前提ソフトウェア

- サポートされるクライアントOS
  - Windows
    - 64 ビット・モードの Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard および Essentials Edition
    - 32 ビット・モードおよび 64 ビット・モードの Microsoft Windows 7 Professional、Enterprise、および Ultimate
    - 64 ビット・モードの Microsoft Windows 8 Professional および Enterprise
    - 64 ビット・モードの Microsoft Windows 8.1 Professional および Enterprise
  - Linux
    - 64 ビット・モードの Red Hat Enterprise Linux (RHEL) Workstation 6、7
    - 64 ビット・モードの SUSE Linux Enterprise Desktop (SLED) 11、12
    - 64 ビット・モードの Ubuntu 10.04 LTS
- 導入に必要なIBM Installation Manager
  - IBM Installation Manager 1.8.3以上



## Rational Developer for i 9.5導入の前提ハードウェア

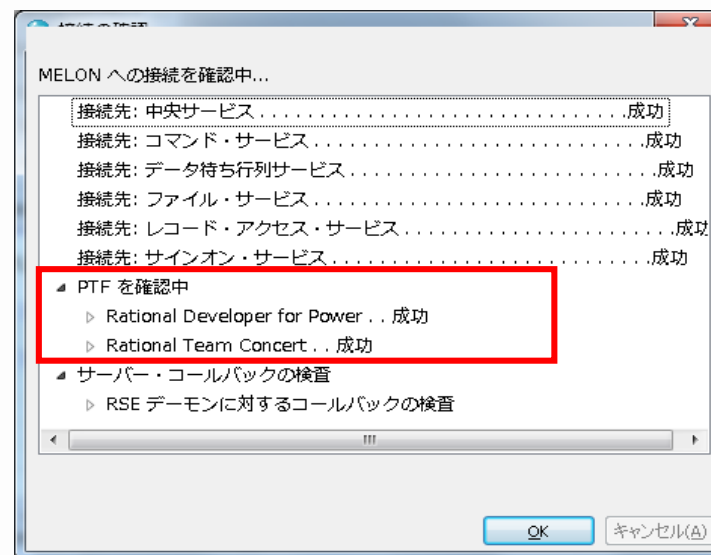
- ハードウェアの前提
  - ディスプレイ: 1280 X 1024 を推奨
- プロセッサー
  - 最小 32 ビット (x86) Core2 Duo (または同等のもの); 64 ビット (x64) Core2 Quad (または同等のもの) を推奨
- ディスク・スペース
  - 最小 1.5 GB、その他開発するリソース用の追加ディスク・スペースが必要
- メモリー
  - 3GB RAM を推奨



## Rational Developer for i 9.5接続サーバーの前提条件

- 接続がサポートされるサーバーOS
  - IBM i 7.1 (5770WDS オプション 60)
  - IBM i 7.2 (5770WDS オプション 60)
- RPG、COBOL、C、C++、CL、DDSのコンパイラー
  - Remote System Explorer (RSE) を使用し、IBM i 上のRPGなどをコンパイルする場合必要
- 必要PTF
  - RDi 導入後、Remote System Explorer (RSE)から必要PTFの確認を行えます
    - (手順)
      - Remote System Explorer パースペクティブを開きます
      - IBM iの接続定義を作成し、接続します
      - 接続を展開し、「オブジェクト」を右クリックします
      - メニューから「接続の確認」を選択します

必要な PTF が既にシステムにインストールされているかを示すダイアログが表示されます



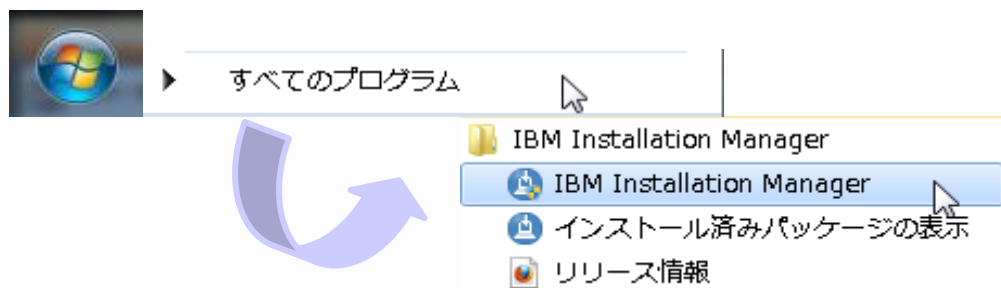
## 前提PTF

- V9.5からの新機能である、「完全にフリーフォーム化されたRPG」には、以下PTFの適用が必要です
  - IBM i 7.1
    - Technology Refresh 11
    - DB2 グループ PTF SF99701 level 38
    - SI58136
  - IBM i 7.2:
    - Technology Refresh 3
    - DB2 グループ PTF SF99702 level 9
    - SI58137
    - SI58110



## 導入前提 – Installation Manager

- IBM Installation Managerを使用
  - 製品の導入/変更/更新/アンインストールを行なうために必要
- RDi v9.5 の導入には、Version 1.8.3 以上が必要
  - RDiのメディアに同梱
- Installation Manager の特徴
  - RDiとは別に、独自のリリース・スケジュールあり
  - 優先的に自身のアップデートを実施



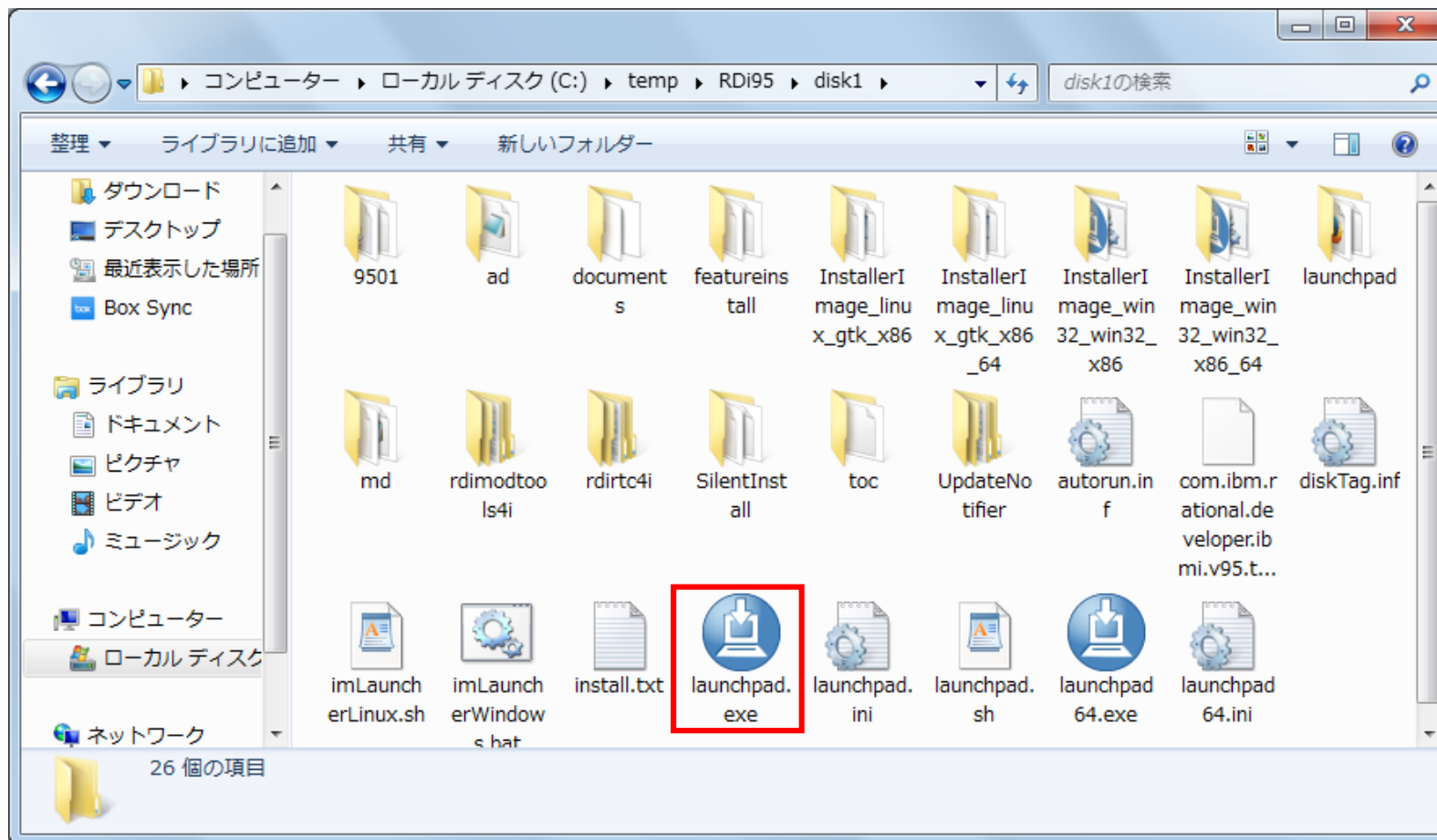
## 導入の準備

- インストール・メディアの準備
  - パスポート・アドバンテージ(PA)からダウンロード
    - <http://www-06.ibm.com/software/jp/passportadvantage/pao.html>
  - ESS (Entitled software support)サイトからダウンロード
    - <http://www-304.ibm.com/servers/eserver/ess/index.wss>
- 評価版をWebサイトからダウンロード
  - <https://www.ibm.com/developerworks/downloads/r/rdi/>
  - ダウンロード方法については、当資料「付録A. IBM Rational Developer for i 評価版のダウンロード」を参照



## ステップ1. インストーラーの起動

- メディアを装填、もしくはダウンロードしたインストール・イメージからlaunchpad.exe(64ビット版の場合 launchpad64.exe) を起動します





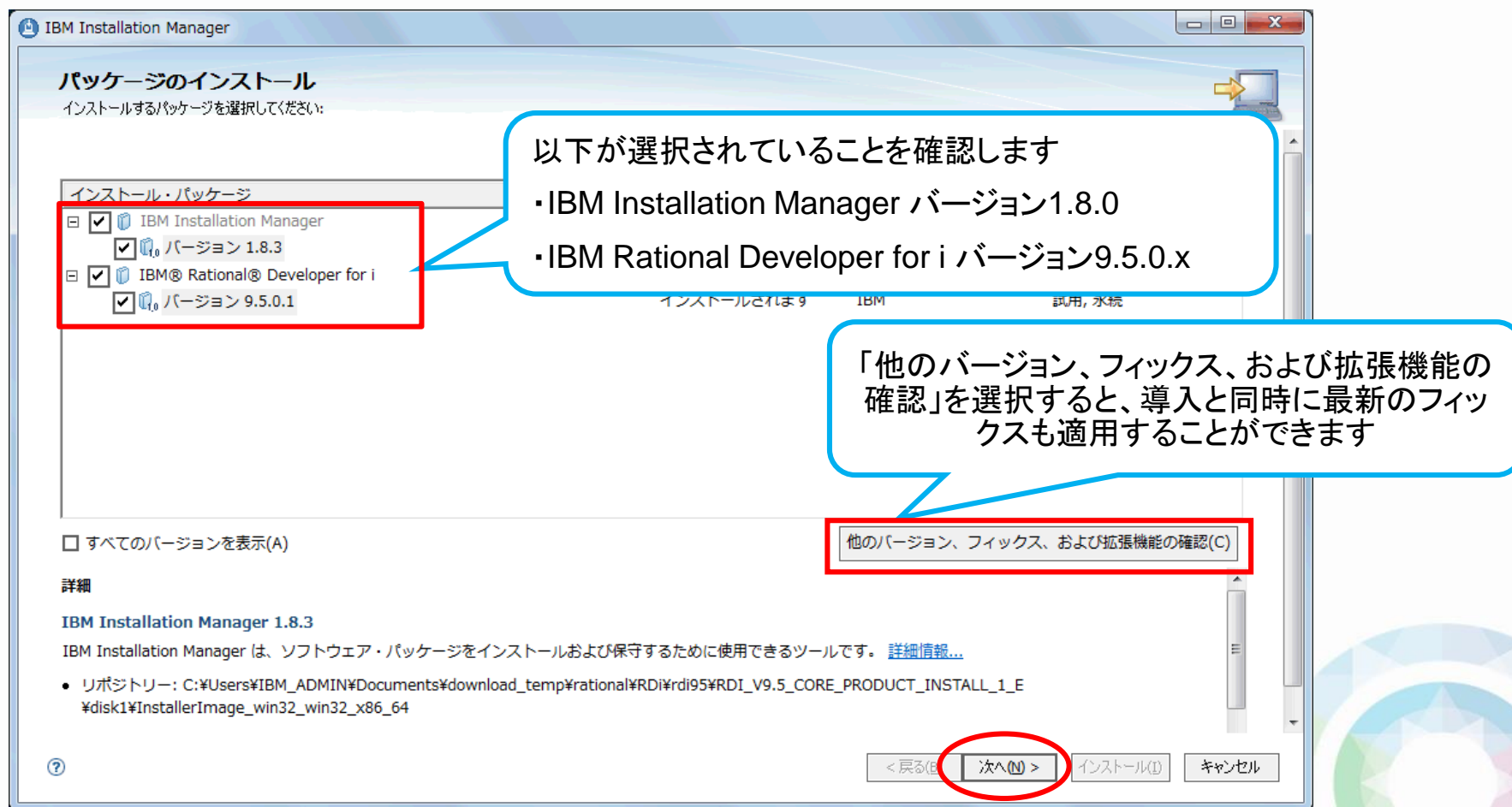
## ステップ2. 導入の開始

- RDiのインストーラーが開始します
  - 「IBM Rational Developer for i のインストール」を選択します



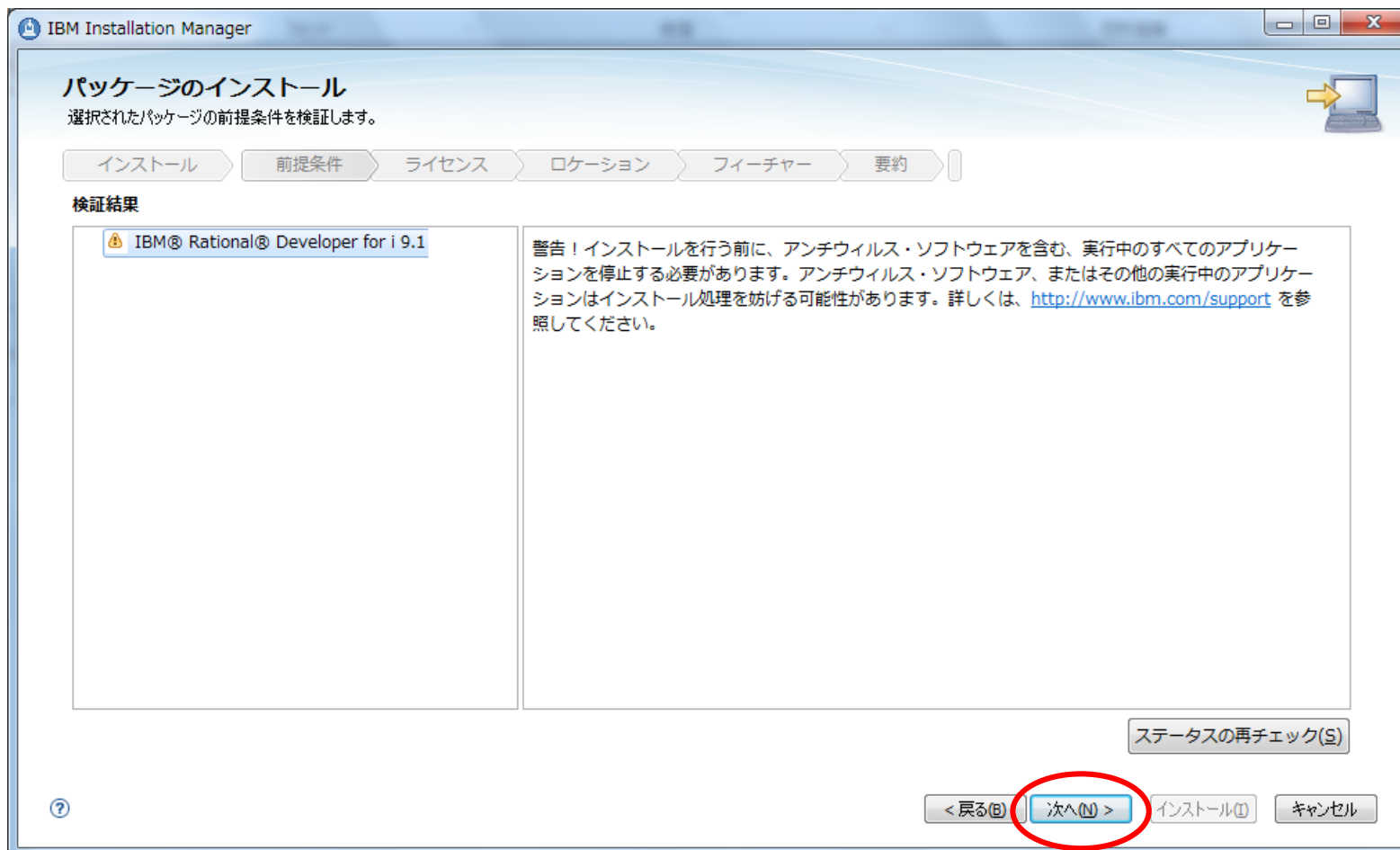
## ステップ3. インストール・パッケージの選択

- Installation Managerが起動し、「パッケージのインストール」画面が表示されます
  - 導入するパッケージが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします



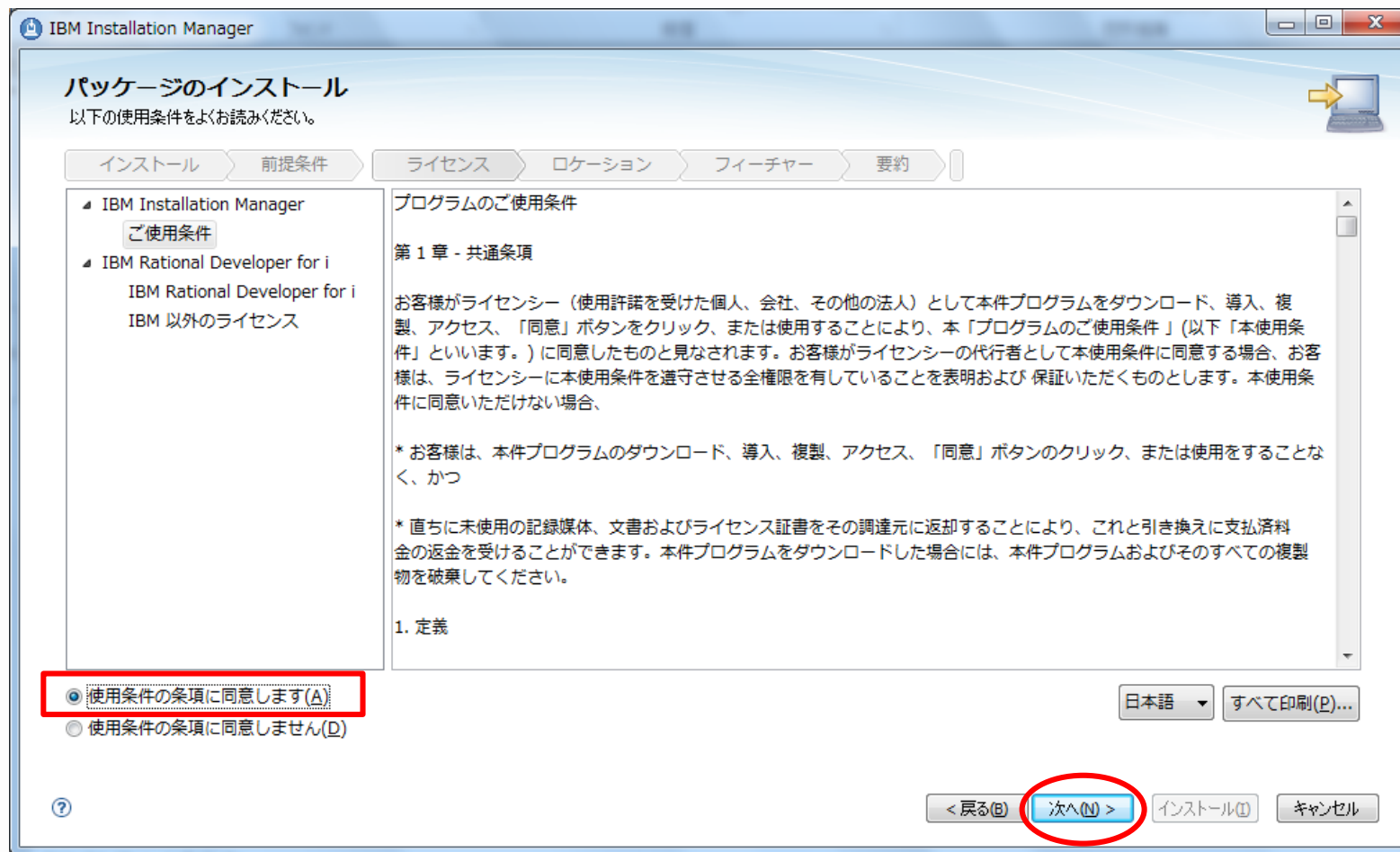
## ステップ4. 前提条件の検証

- ステップ3で選択したパッケージの前提条件が検証されます
  - 結果を確認し「次へ」をクリックします



## ステップ5. 使用条件の同意

- 内容を確認し[使用許諾契約の条項に同意します] ラジオ・ボタンを選択し、「次へ」をクリックします



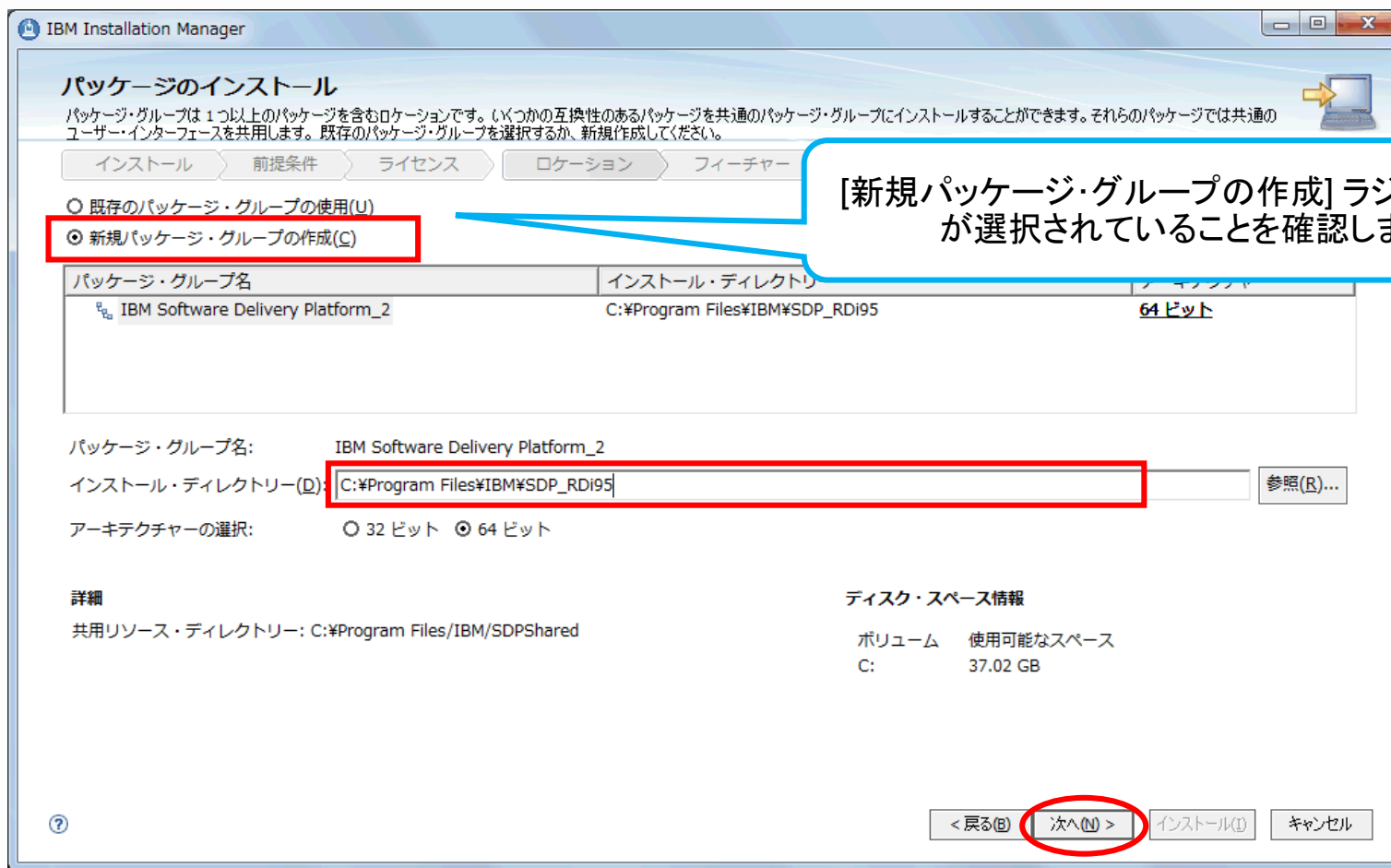
## ステップ6. 共有リソース・ディレクトリーの指定

- 任意の共有リソース・ディレクトリーを指定し、「次へ」をクリックします
  - デフォルトでは[C:\Program Files (x86)\IBM\IMShared] が使用されます (32ビット版)



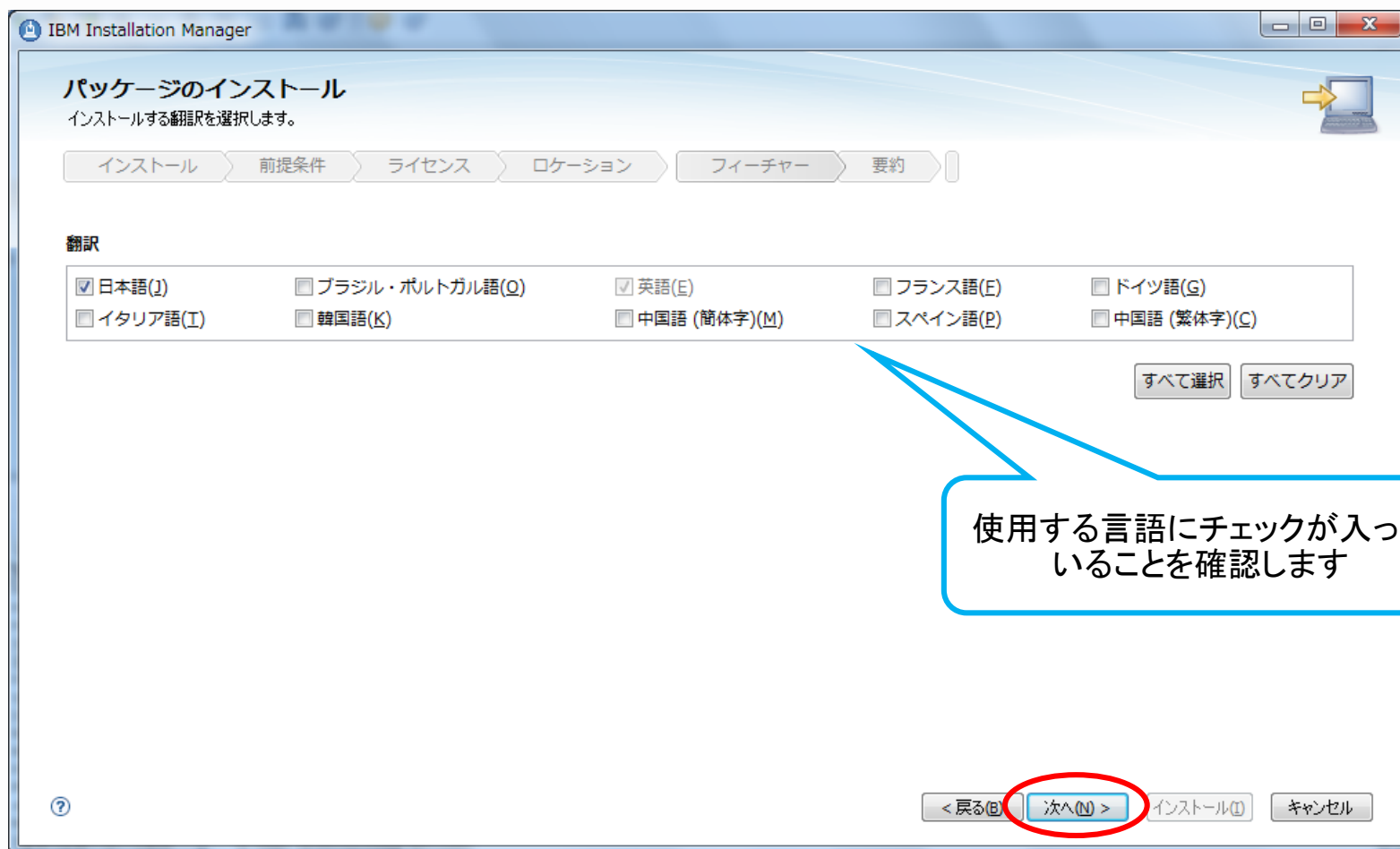
## ステップ7. インストール・ディレクトリーの指定

- パッケージ固有のオブジェクトを配置するディレクトリーを指定し、「次へ」をクリックします
  - デフォルトでは[C:¥Program Files (x86)¥IBM¥SDP] が使用されます (32ビット版)



## ステップ8. インストールする言語の選択

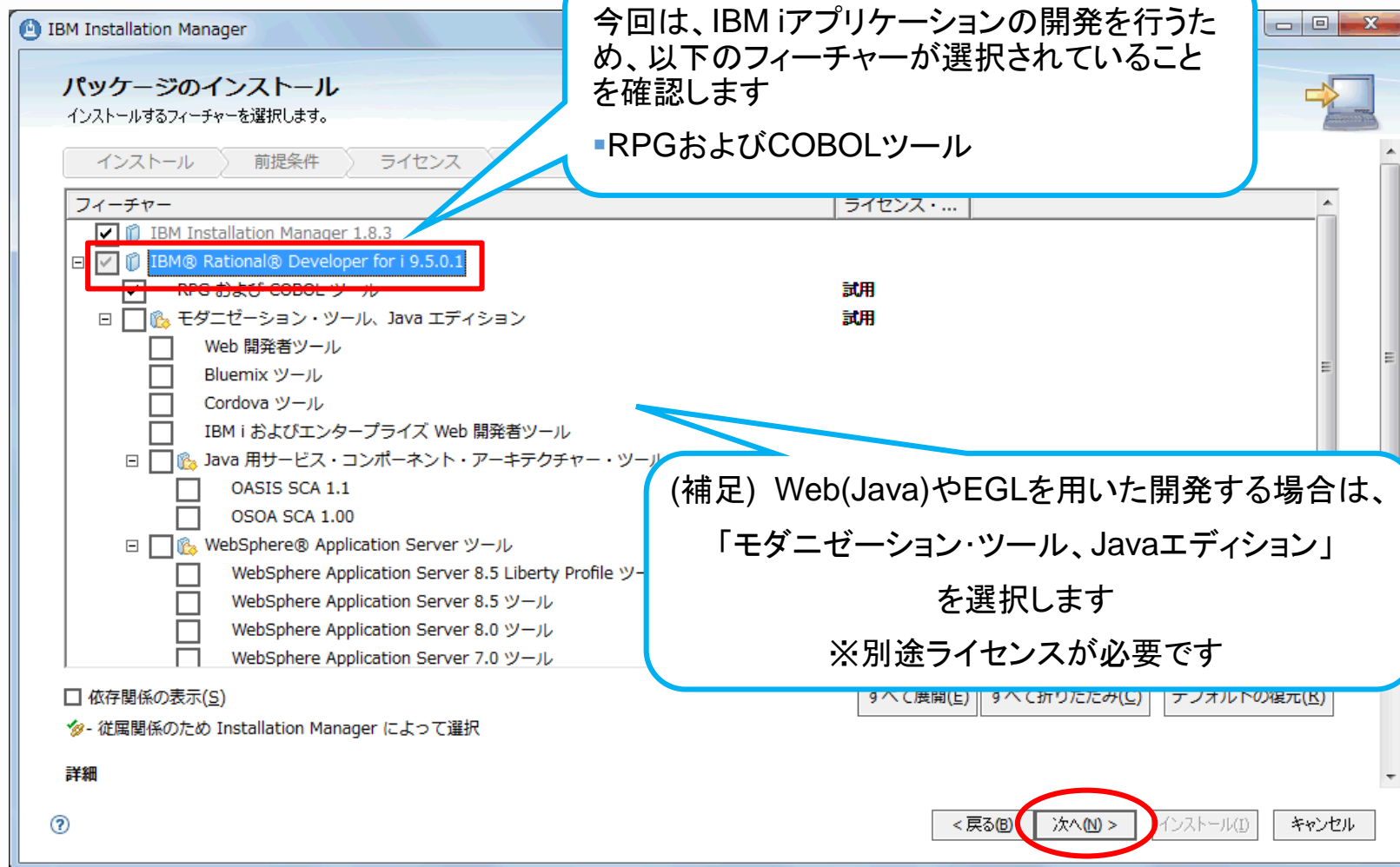
- 導入する言語を指定し、「次へ」をクリックします
  - デフォルトでは英語は必ず導入されます





## ステップ9. インストールするフィーチャーの選択

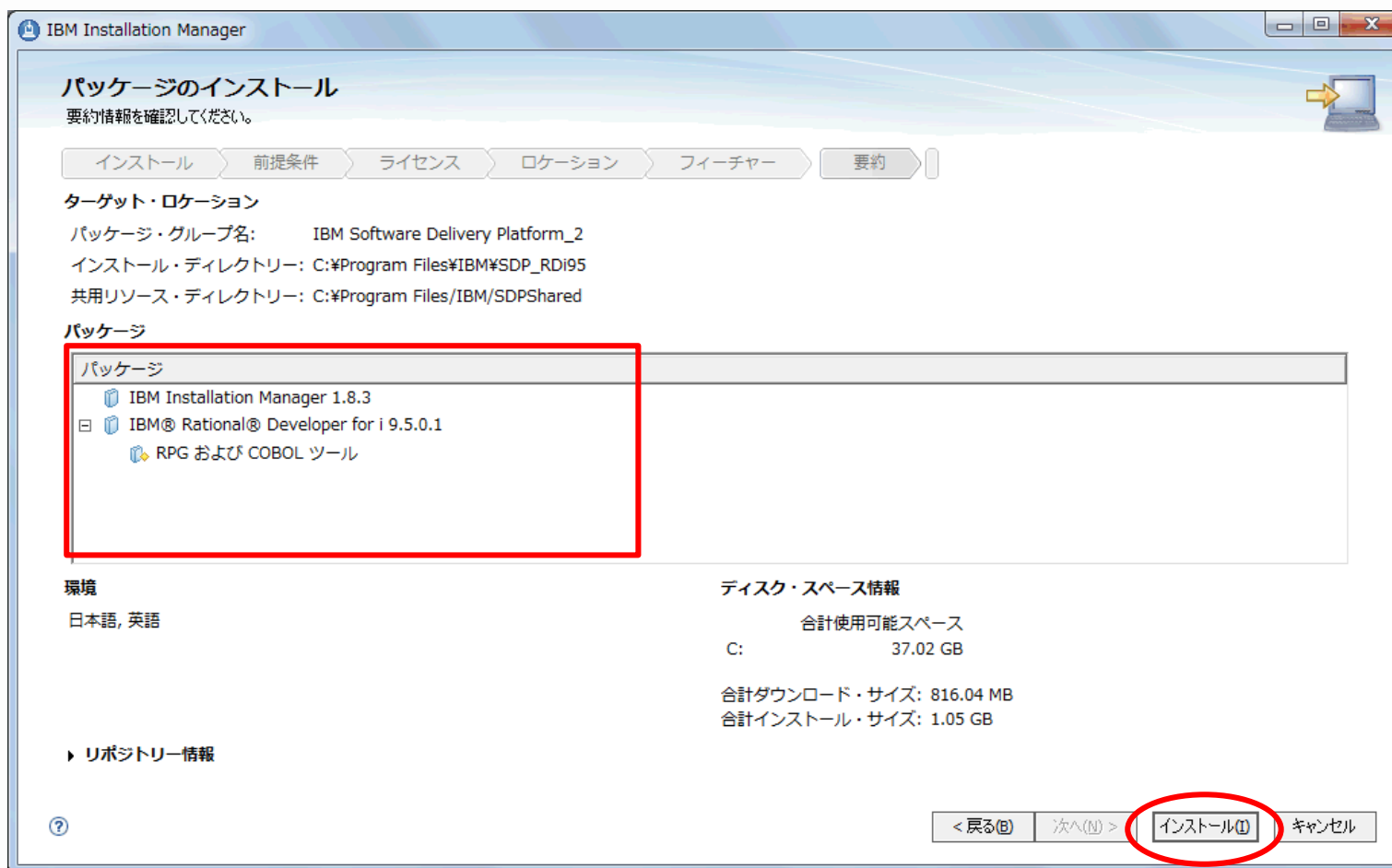
- 導入するフィーチャーを選択します





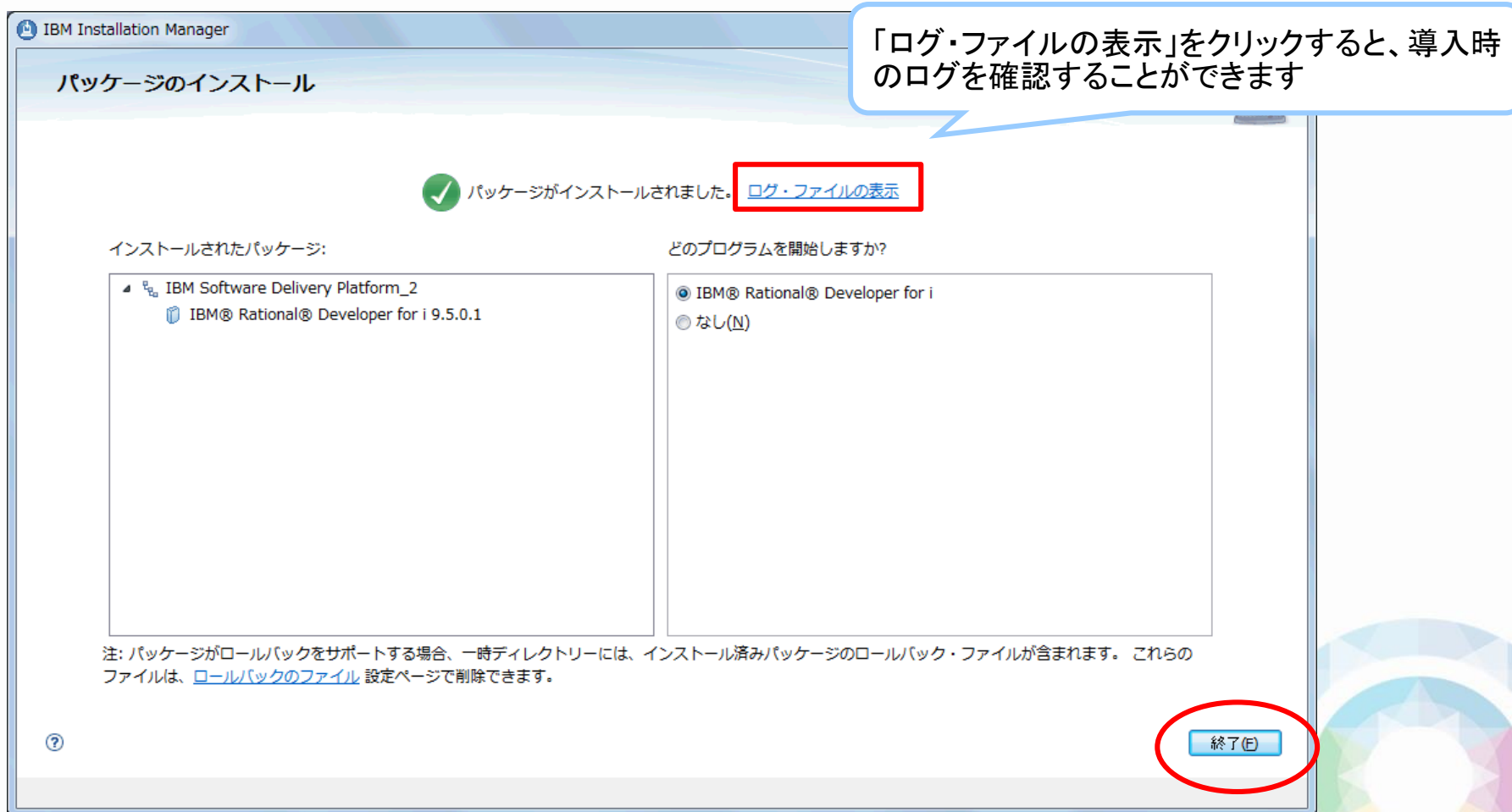
## ステップ10. インストールの要約

- 要約画面が表示されます
  - 導入されるフィーチャーを確認し、「インストール」をクリックします。



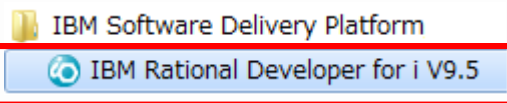
## インストール完了

- 正常に導入されると、以下のような画面が表示されます
  - 「終了」をクリックします



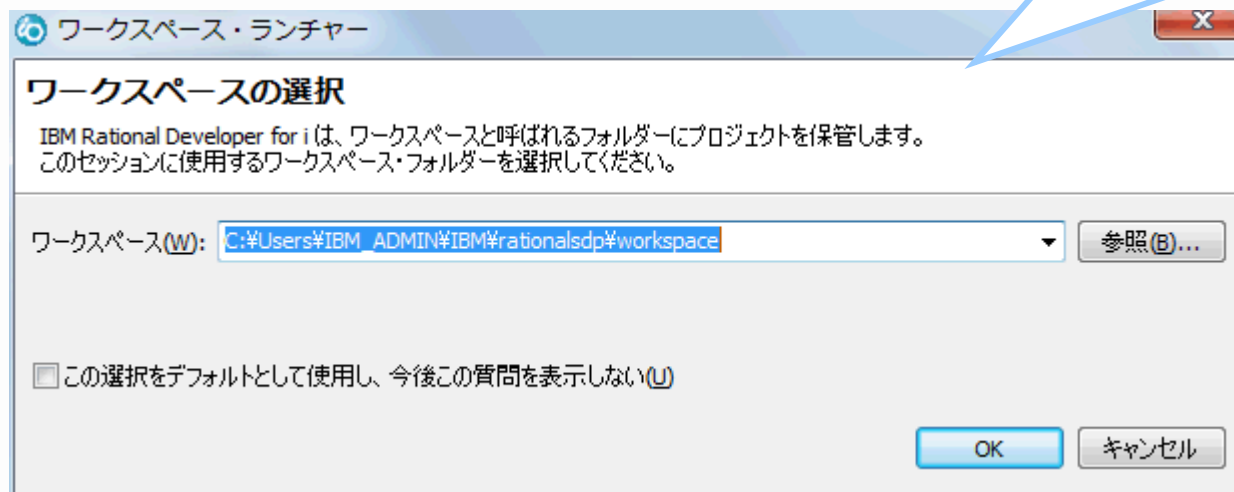
## 製品の起動

- Windowsのスタートメニューから
  - すべてのプログラム > IBM Software Delivery Platform > IBM Rational Developer for i V9.5 を選択



- 作業領域となるワークスペースを指定します

ローカルにキャッシュなどの関連ファイルを保管するための任意のディレクトリを指定します



## 変更/更新/アンインストール

- 製品の変更/更新/アンインストールは、Installation Managerから実施します
  - 変更 – フィーチャーや言語を追加/削除するときに使用
  - 更新 – フィックスを適用するときに使用
    - フィックス・パックは累積で提供されます
      - ダウンロードし適用するためのzipファイルも提供されます
    - ロールバックは行なえません
  - アンインストール – 製品の削除
  - ライセンスの管理 – ライセンスの登録を行なうときに使用



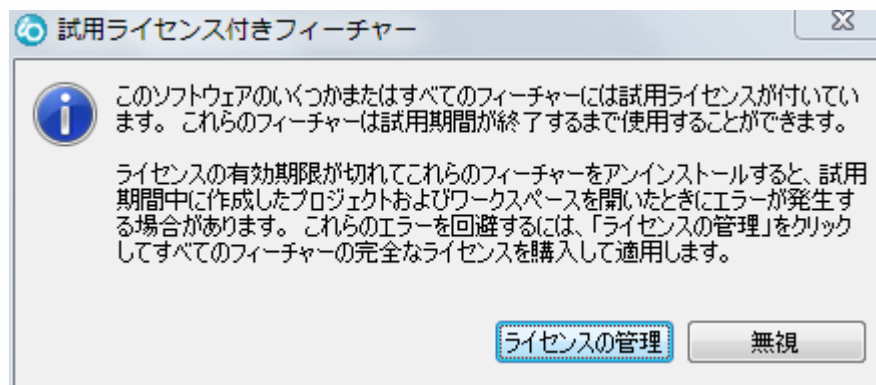
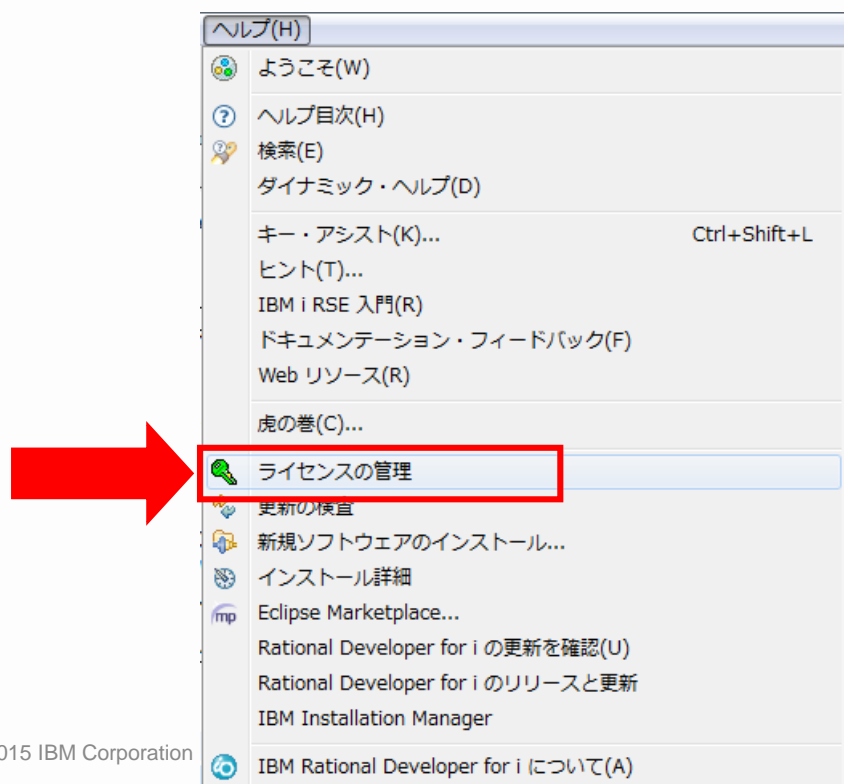
## 2. IBM Rational Developer for i の導入方法

### 2-2. IBM Rational Developer for i ライセンスの登録



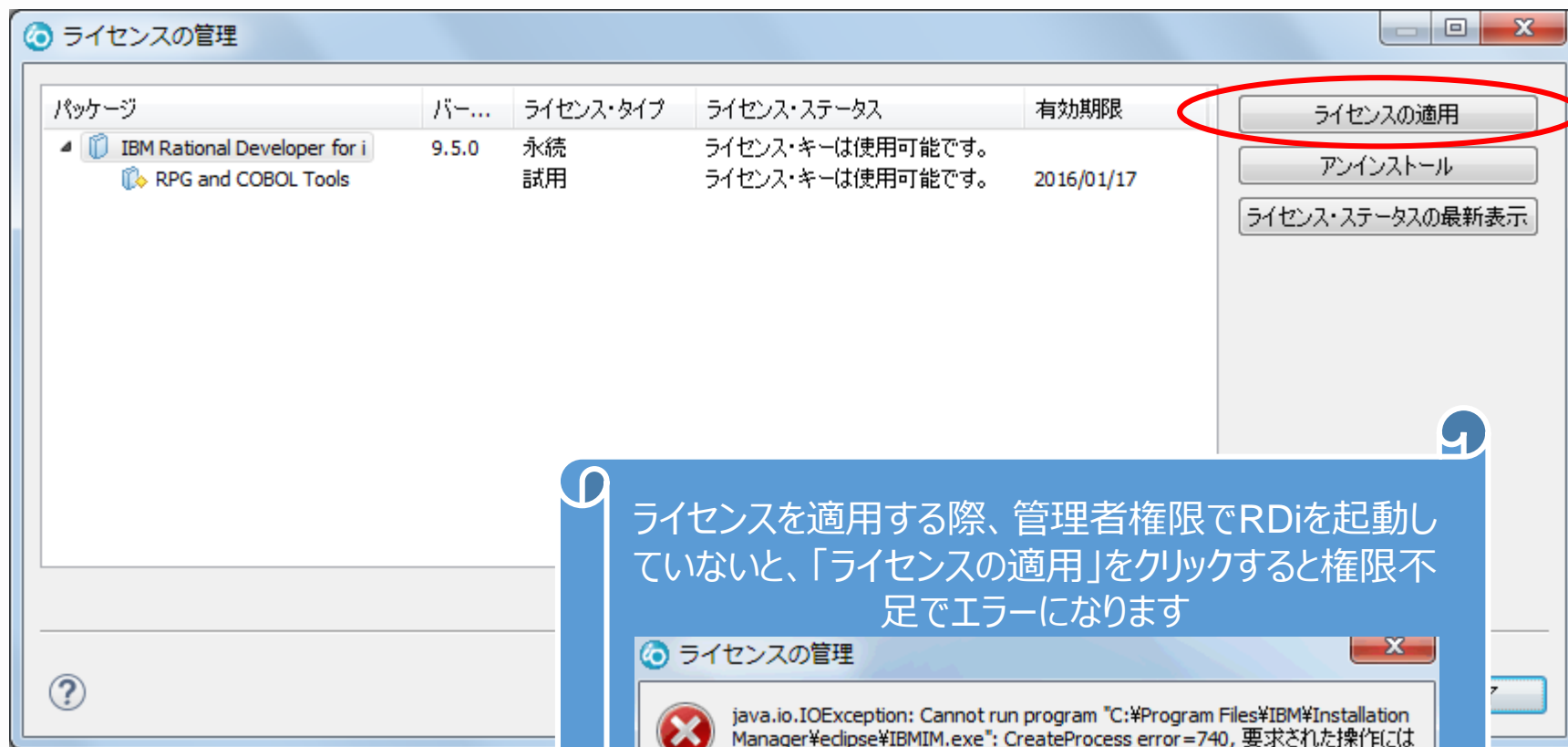
## ライセンスの管理

- デフォルトで、60日試用ライセンスが適用されます
  - アンインストール、再インストールしても、この60日間はリセットされません
- IBM Installation Manager の「ライセンスの管理」を用い、永続ライセンス・キーもしくはフローティング・ライセンスの設定を行ないます
  - RDiの「ヘルプ」メニューの「ライセンスの管理」から実施
  - もしくは、試用ライセンスを使っている場合、製品起動時にダイアログが表示されます

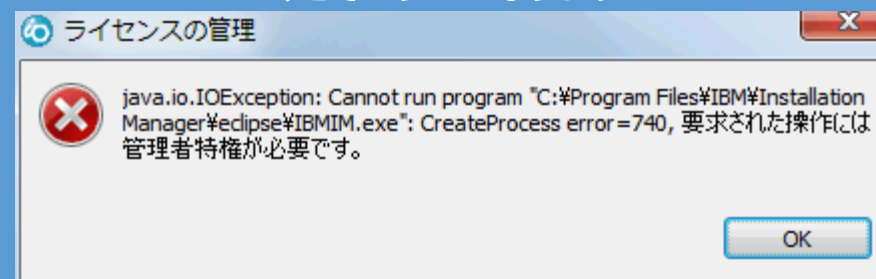


## ステップ1. ライセンスの適用

- ライセンスの管理画面から「ライセンスの適用」を選択します

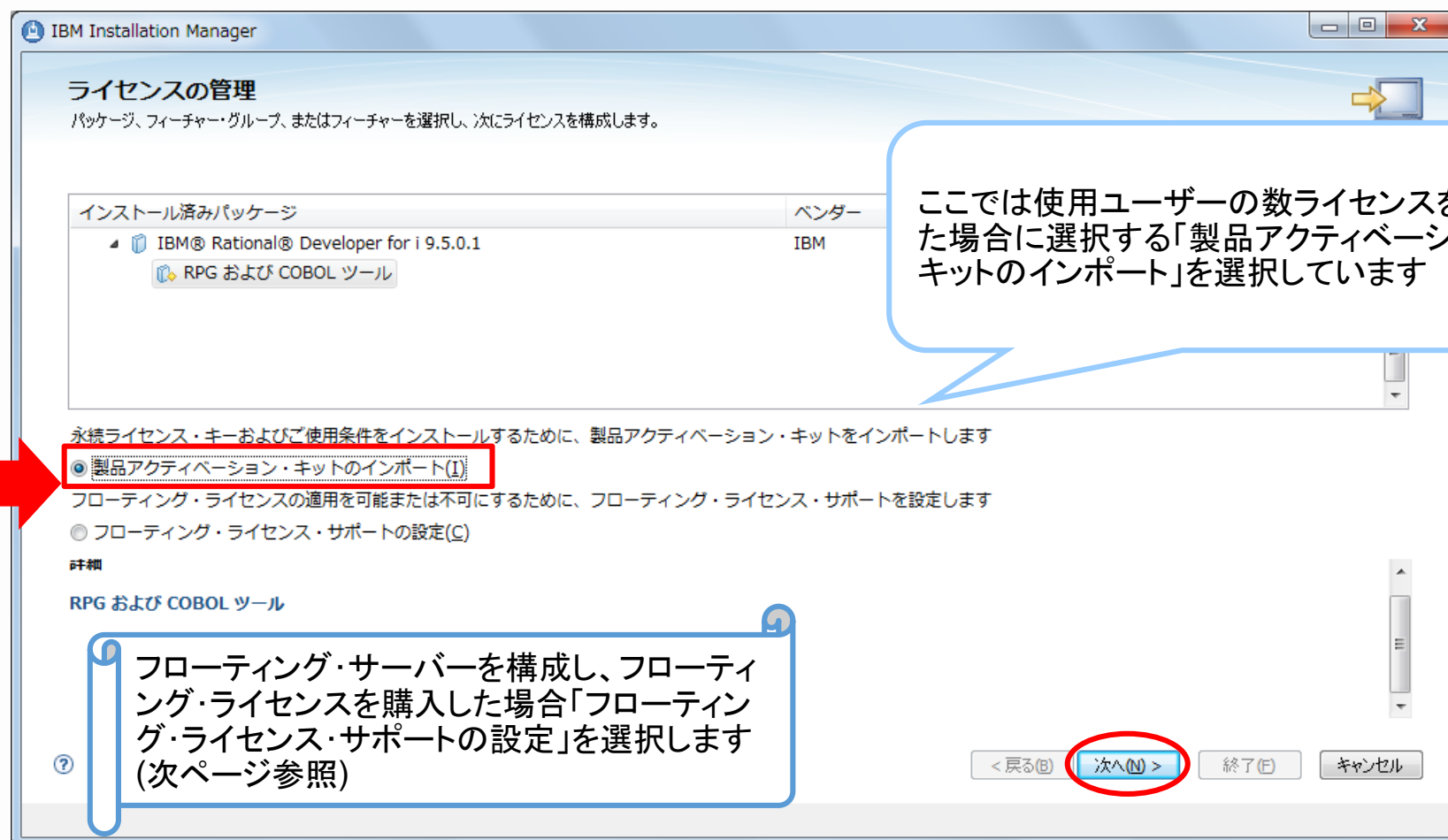


ライセンスを適用する際、管理者権限でRDiを起動していないと、「ライセンスの適用」をクリックすると権限不足でエラーになります



## ステップ2. ライセンス登録

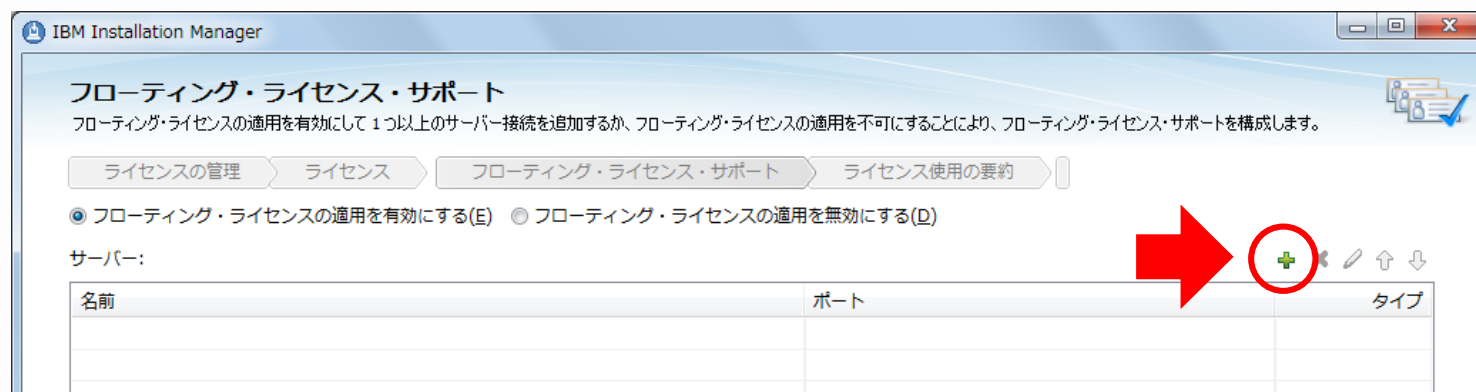
- Installation Managerが起動します。フィーチャーを選択し、「製品アクティベーション・キットのインポート」もしくは「フローティング・ライセンス・サポートの設定」のいずれかを選択します





## (参考) フローティング・ライセンス

- フローティング・ライセンスを使用する場合、以下の手順でライセンス登録します
  - [フローティング・ライセンス・サポートの設定]選択
  - ライセンス使用条件の条項に同意します
  - [フローティング・ライセンスの適用を有効にする] を選択
  - [追加] ボタン(緑のプラス・マーク)をクリックし、フローティング・サーバー設定を追加
    - サーバー名
    - ポート番号



- ライセンス使用の要約が表示されるので確認します
- ライセンスが構成されたことを確認します

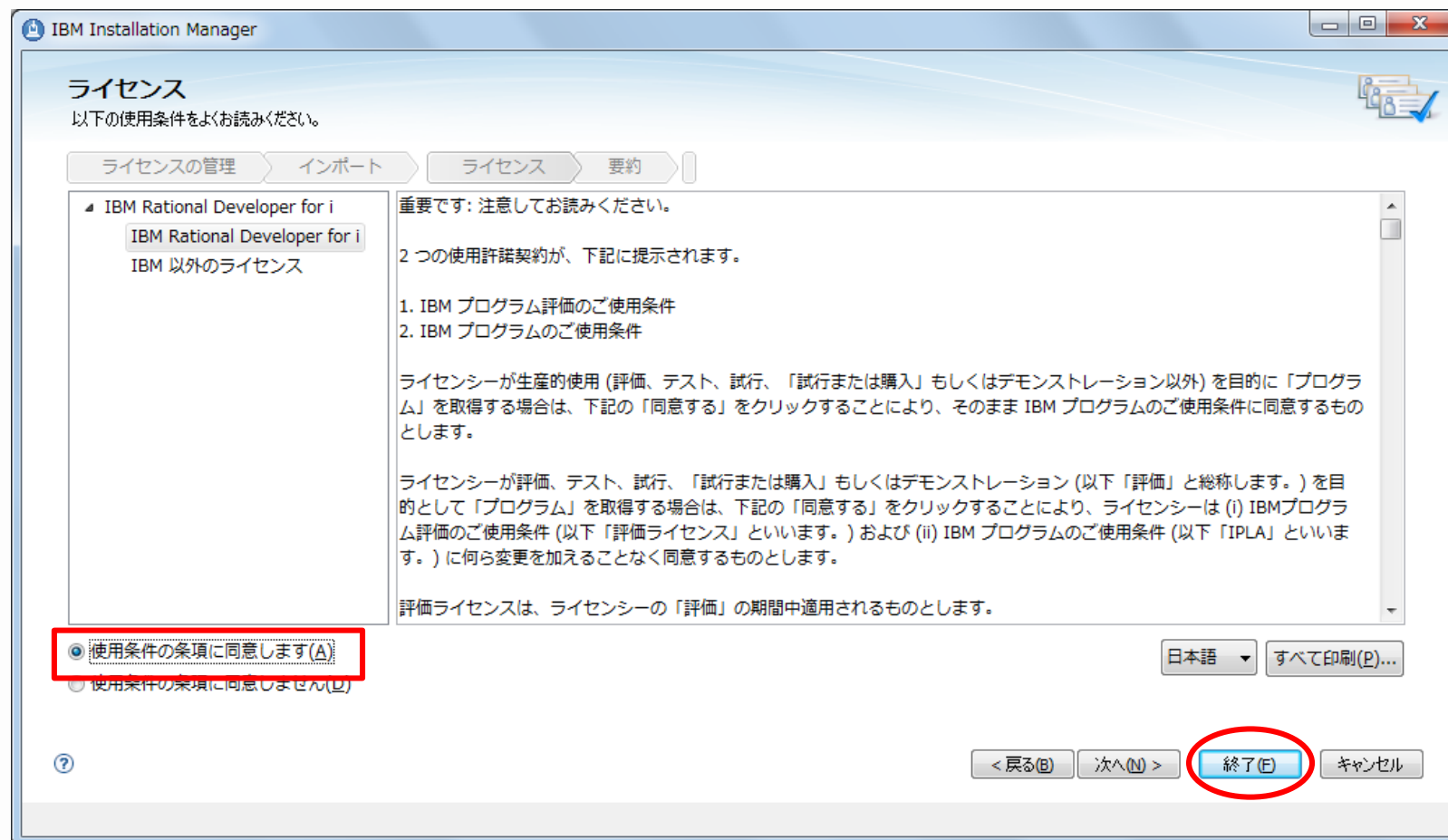
## ステップ3. アクティベーション・キットの選択

- 「参照」ボタンをクリックし、選択したフィーチャー用のアクティベーション・キットとなる\*.jarファイルを指定します



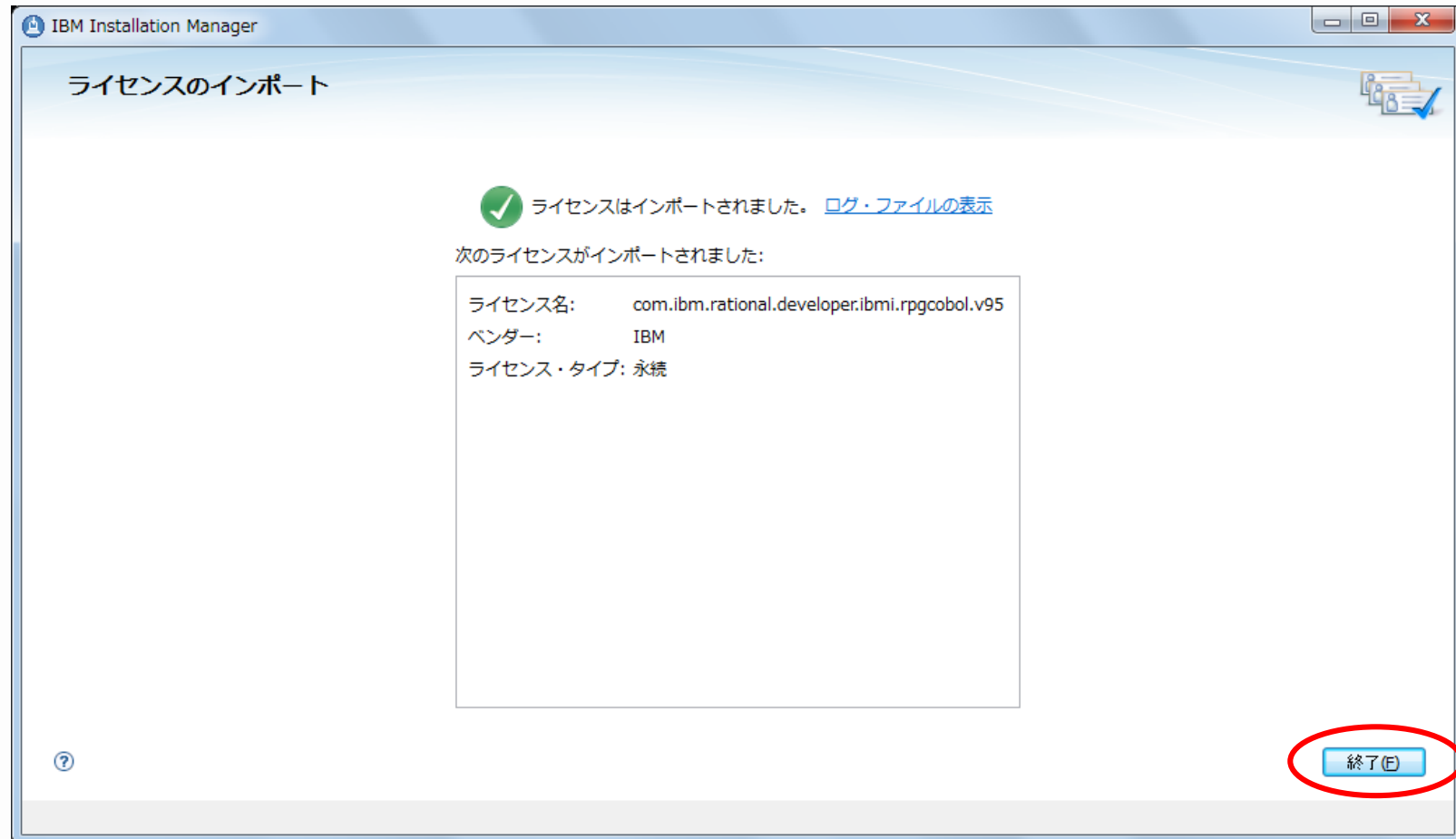
## ステップ4. 使用条件の確認

- 使用条件を確認し、[使用条件の条項に同意します]を選択し、「終了」をクリックします



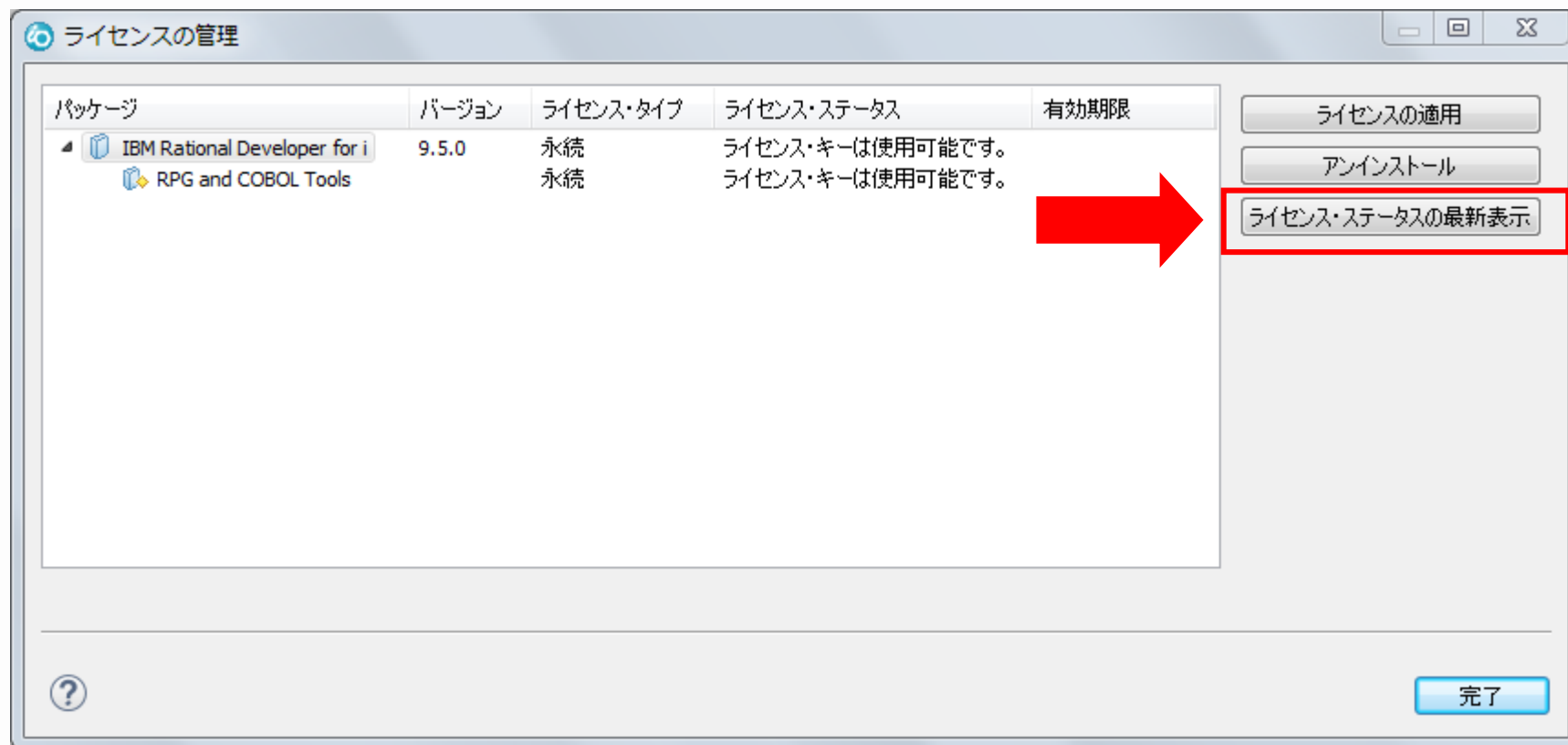
## ステップ5. ライセンス登録の完了

- ライセンスがインポートされたことを確認します



## ステータスの最新表示

- 「ライセンス・ステータスの最新表示」をクリックすることで、情報が更新され、ライセンスが登録されたことを確認できます



## 付録 A.

IBM Rational Developer for i 評価版のダウンロード



## 評価版のダウンロード

- 下記Webサイトから評価版をダウンロードできます
  - <https://www.ibm.com/developerworks/downloads/r/rdi/>
    - ダウンロードには予め「IBM ID」が必要となります。お持ちでない場合は、下記URLよりIBM IDの新規作成を行なって下さい
    - <https://www.ibm.com/account/profile/jp?page=reg>
- 上記サイトにある「Download trial」をクリックします

The screenshot shows the IBM developerWorks website for Rational Developer for i. The navigation bar includes links for Technical topics, Evaluation software, Community, and Events. The breadcrumb trail is developerWorks > Evaluation software > Rational >. The main heading is 'IBM Rational Developer for i'. Below the heading, there is a description of the IDE and two buttons: 'Download trial' (highlighted with a red rectangle) and 'Buy online'. At the bottom, there is a section for 'Contact IBM' with the text 'Considering a purchase?'.

developerWorks® Technical topics Evaluation software Community Events

developerWorks > Evaluation software > Rational >

### IBM Rational Developer for i

IBM® Rational® Developer for i is an integrated development environment (IDE) built on the Eclipse platform. Designed for creating and maintaining applications on IBM i systems, it resides on the developer's desktop, supporting development in both host-connected and disconnected modes.

This trial has all features enabled. Download the trial for an evaluation period of 60 days. If the product activation kits are purchased, they can be applied to the trial to fully activate the product.

There are two optional methods for downloading this trial. Web install is the recommended method of installation. If you encounter issues performing the web install from this page, please

**Download trial**

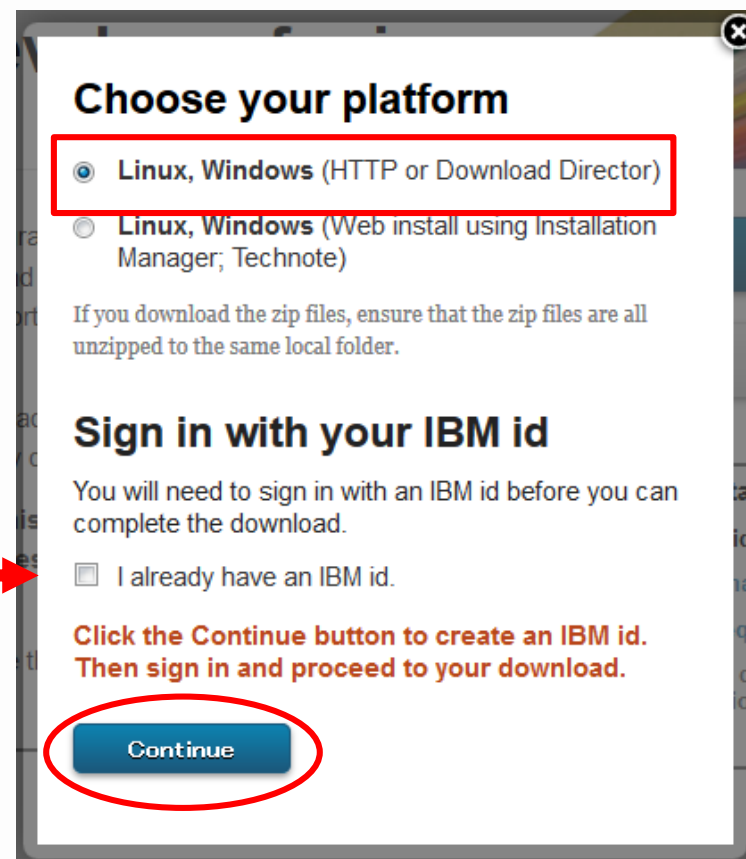
**Buy online**

**Contact IBM**

Considering a purchase?

## ダウンロード方法

- 下記2つのダウンロード方法をお選びいただけます
  - HTTP or Download Director
    - 導入イメージをすべてダウンロードしてからインストールする方法
  - Web install using Installation Manager
    - Installation Managerのみ予めダウンロードして導入し、Web経由で導入イメージを取得する方法
    - 詳細は以下URLをご参照ください
    - [http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=s\\_wg21667734](http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=s_wg21667734)
  - ここでは、前者のHTTP or Download Directorを使った導入方法について説明します
- IBM IDをお持ちの方は、「I already have an IBM id」にチェックを付けます
  - お持ちでない方は、このタイミングで



**Choose your platform**

☒ **Linux, Windows (HTTP or Download Director)**

☐ **Linux, Windows (Web install using Installation Manager; Technote)**

If you download the zip files, ensure that the zip files are all unzipped to the same local folder.

**Sign in with your IBM id**

You will need to sign in with an IBM id before you can complete the download.

☐ I already have an IBM id.

Click the **Continue** button to create an IBM id. Then sign in and proceed to your download.

**Continue**



## IBM IDでのサインイン

- IBM IDとパスワードを入力して、サインインしてください
  - お持ちでない場合は、「IBM Identityの生成」をクリックして、IBM IDとパスワードを取得する手続きをしてください



IBM

### IBM Identity

1つのキーで、多くの可能性。

お持ちの IBM Identity により、サービス、コミュニティ、サポート、オンライン購入など、さまざまなものへのアクセスが提供されます。

注: ページをブックマークする場合は、このログイン ページではなく、ログイン後に表示されるページをご登録ください。

IBM Identity の生成

### サインイン

userid@example.com

.....

パスワードをお忘れですか?

サインイン

## アンケート入力とライセンスへの同意

- アンケート入力と、ライセンスへの同意が必要となります

IBM Industries & solutions Services Products Support & downloads My IBM Search

### Rational Developer for i

Asterisks (\*) indicate fields required to complete this transaction.

**Privacy**  
Please keep me informed of products, services and offerings from IBM 子会社、関連会社 affiliates worldwide.

☐ by email.  
☒ by telephone.  
☒ by postal mail.

I accept [IBM's Privacy statement](#).

**License**  
To view the license, click the "View license" button. If you are using a window, please use the "Back" button. If you are using a browser, please use the window or browser session that is displaying this page.

[View license](#)

By checking "I agree" box below you agree that (1) you have had the opportunity to review the license and (2) you agree to be bound by its terms. If you disagree, click "I cancel" below.

**I agree\***  
☒ I agree

By clicking the "I confirm" button below, I confirm my Privacy selection and acceptance of the license. By clicking the "I cancel" button, I cancel my Privacy selection and acceptance of the license.

**I confirm** I cancel

**Need help?**  
[Sign up support \(English only\)](#)  
[Sign up and Software Download FAQ](#)  
[Software download support \(English only\)](#)

①

②

「View license」をクリックし、ライセンス条項を確認します。同意していただける場合「I agree」にチェックを付け「I confirm」をクリックします

## 評価版インストール・イメージのダウンロード

- インストール・イメージを選択し、ダウンロードします

### Downloads

Rational Developer for i for IBM i (formerly i7), Red Hat Entrprs Linux (RHEL) Dsktp, SUSE Linux Enterprise Desktop(SLED), Ubuntu 14.04 LTS, Windows 7 Enterprise, Windows 7 Professional, Windows 7 Ultimate, Windows 8 Enterprise, Windows 8 Pro, Windows Server 2012 Essentials, Windows Server 2012 Standard Chinese Simplified, Chinese Traditional, English, French, German, Italian, Japanese, Korean, Portuguese Brazilian, Spanish  
2015-09-18

① 「Select all files」をクリックします

Download Director, select the files you want below and click on 'Download

the files [using http](#).

Download using Download Director

Download using http

☒ Select all files

☒ IBM Rational Developer for i V9.5 Core Product Install 1 Evaluation Multiplatform Multilingual  
RDI\_V9.5\_CORE\_PI\_1\_EVAL\_EMG.zip (3526 MB)

☒ IBM Rational Developer for i V9.5 Core Product Install 2 Evaluation Multiplatform Multilingual  
RDI\_V9.5\_CORE\_PI\_2\_EVAL\_EMG.zip (2097 MB)

Download now

※注意「このアプリケーションを実行しますか」というJavaの画面が出た場合は、「実行」をクリックします

このアプリケーションを実行しますか。



名前: IBM Download Director

発行者: International Business Machines Corp ...

場所: https://www-01.ibm.com

このアプリケーションは、コンピュータおよび個人情報を危険にさらす可能性がある無制限のアクセスで実行されます。上記の場所と発行者を信頼する場合にのみ、このアプリケーションを実行してください。

☐ 上記の発行者と場所からのアプリケーションについては、次回から表示しない(D)



詳細情報(M)

実行(B)

取消

② Download Director が起動し、ダウンロードが開始されます



## (参考) 評価版インストール・イメージをHTTPでダウンロード

- Download Directorを使用せず、HTTPでダウンロードする方法もあります

### Rational Developer for i

#### Downloads

Rational Developer for i for IBM i (formerly i7), Red Hat Entrprs Linux (RHEL) Dsktp, SUSE Linux Enterprise Desktop(SLED), Ubuntu 14.04 LTS, Windows 7 Enterprise, Windows 7 Professional, Windows 7 Ultimate, Windows 8 Enterprise, Windows 8 Pro, Windows Server 2012 Essentials, Windows Server 2012 Standard  
Chinese Simplified, Chinese Traditional, English, French, German, Italian, Japanese, Korean, Portuguese Brazilian, Spanish  
2015-09-18

To download using http, click on 'Download now'.

You can also download the files [using Download Director](#). [Learn more](#).

Download using Download Director

Download using http

**IBM Rational Developer for i V9.5 Core Product Install 1 Evaluation  
Multiplatform Multilingual**  
RDI\_V9.5\_CORE\_PI\_1\_EVAL\_EMG.zip (3526 MB)

[Download  
now](#)

**IBM Rational Developer for i V9.5 Core Product Install 2 Evaluation  
Multiplatform Multilingual**  
RDI\_V9.5\_CORE\_PI\_2\_EVAL\_EMG.zip (2097 MB)

[Download  
now](#)



## 導入の準備

- ダウンロードしたファイルを、任意のディレクトリーに解凍します
  - 解凍する際、同じディレクトリーに解凍します
    - RDI\_V9.5\_CORE\_PI\_1\_EVAL\_EMG.zipは指定したディレクトリー直下に、disk1およびdisk2というディレクトリーが解凍されます
    - RDI\_V9.5\_CORE\_PI\_1\_EVAL\_EMG.zipは、指定したディレクトリーにRDi95というディレクトリーが解凍されます
      - 解凍されたRDi95ディレクトリーにあるdisk1およびdisk2、  
com.ibm.rational.developer.ibm.rpgcobol.v95.pek.jarをRDI\_V9.5\_CORE\_PI\_1\_EVAL\_EMG.zipの解凍ディレクトリーにコピーし統合します

名前	更新日時	種類	サイズ
disk1	2015/11/28 5:23	ファイル フォル...	
disk2	2015/09/24 10:58	ファイル フォル...	
com.ibm.rational.developer.ibm.rpg...	2015/06/16 16:24	Executable Jar ...	30 KB



## 付録 B.

IBM Rational Developer for i 参考資料一覧



## 参考資料

- IBM Rational Developer のバージョン 9.5製品発表レター
  - <http://www-01.ibm.com/common/ssi/cgi-bin/ssialias?infotype=AN&subtype=CA&htmlfid=897/ENUS215-380&appname=USN>
- Rational Developer for i Product Evolution (USサイト)
  - <http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21681378>
- ここからはじめるRational Developer for Power Systems Software
  - <https://www.ibm.com/developerworks/community/wikis/home?lang=ja#!/wiki/Rational%20Japan%20Wiki/page/%E3%81%93%E3%81%93%E3%81%8B%E3%82%89%E3%81%AF%E3%81%98%E3%82%81%E3%82%8BRational%20Developer%20for%20Power%20Systems%20Software>
- 製品の前提条件
  - [http://www-969.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProductByComponent?deliverableId=1389116795662&duComponent=Desktop\\_815C7E2089E711E399C2FED50CFA5139#osFamily-2](http://www-969.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProductByComponent?deliverableId=1389116795662&duComponent=Desktop_815C7E2089E711E399C2FED50CFA5139#osFamily-2)



# Thank You

[www.ibm.com/software/jp/rational](http://www.ibm.com/software/jp/rational)

© Copyright IBM Corporation 2015. All rights reserved.

本資料の情報は情報提供のみを目的として現状のまま提供され、明示的または暗黙的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。IBM は本資料の使用に起因するいかなる損害についても責任を負いません。本資料は、IBM (または IBM のサプライヤーまたはライセンサー) にいかなる保証責任を負わせるものではなく、また、IBM ソフトウェアの使用に際し適用される、プログラムのご使用条件の内容も変更するものではありません。本資料に記載の製品、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお問い合わせください。本資料で言及されている製品のリリース日および性能は、市場機会やその他の要因に基づいて、IBM の判断により随時変更される場合があります。また、それらによって、今後その製品または機能が利用できるようになることを IBM が確約するものではありません。

IBM、IBM ロゴおよびその他の IBM 製品は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。